

# 金融危機、 資産市場の変化と マクロ経済

**日時：2011年2月7日(月)  
12時50分～17時35分**

**場所：日本学術会議 講堂**

**〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34**

主催：日本学術会議 経済学委員会・資産市場とマクロ経済分科会

後援：東京大学金融教育研究センター・慶應義塾経済学会・日本総合研究所

問合せ先：事務局 sec@asset-macro2011.com

申込方法：ホームページからお申込みください。

※定員（300名）になり次第、締め切ります。

## <プログラム>

12:30

開場

12:50 - 13:00

**挨拶** 瀬古美喜（資産市場とマクロ経済分科会委員長、慶應義塾大学）

13:00 - 14:00

### 第1セッション「金融政策とマクロ経済」

**【発表】** 本多佑三「金融危機とわが国の量的緩和政策の検証」（関西大学）  
宮越龍義「サブプライムローン危機の日本経済への影響」（大阪大学）  
小川一夫「金融ショックと実物経済：失われた10年と金融危機」（大阪大学）

14:00 - 14:15

**【コメント】** 福田慎一「金融政策とマクロ経済—今後の課題」（東京大学）

14:30 - 15:30

### 第2セッション「資産市場の変化」

**【発表】** 瀬古美喜「わが国の住宅市場における転居率と住宅価格」（慶應義塾大学）  
柳川範之「資産バブルと金融システムの発展」（東京大学）  
大竹文雄「わが国の貧困、格差と金融資産」（大阪大学）

15:30 - 15:45

**【コメント】** 小川一夫「資産市場の変化—今後の課題」（大阪大学）

16:00 - 17:00

### 第3セッション「マクロ経済と金融規制」

**【発表】** 高安秀樹「金融派生商品、企業ネットワークと金融危機」（ソニー CSL）  
翁 百合「マクロブルーデンスの視点に立った規制監督政策」（日本総合研究所）  
福田慎一「グローバル金融危機と中央銀行の対応」（東京大学）

17:00 - 17:15

**【コメント】** 柳川範之「マクロ経済と金融規制—今後の課題」（東京大学）

17:20 - 17:35

**まとめ** 若井克人（経済学委員会委員長、国際基督教大学）

※発表タイトルは仮題です。

2007年以降の世界的な金融危機により、世界経済は大きな打撃を受けました。その後、危機の第二幕ともいえるギリシャ等南欧諸国の財政赤字問題が世界金融市場を大きく揺るがしています。我が国においても、経済成長の低下に伴い、金融危機が90年代に深刻化したほか、現在は格差問題など資産市場を巡る様々な問題が顕在化しています。そうした中で、政策当局は、金融市場や資産市場の動向がマクロ経済に与える影響をどのように判断し、政策に生かしていくか、ということが改めて大きな課題となってきました。金融政策、金融規制のあり方、また格差是正のための方策など、資産市場の変化に伴い、政策体系を大きく見直さなければならないことが次第に明らかになっています。これを受けて経済学の視点から今後何が課題であるといえるのか、経済学研究において何が課題なのか、といった問題意識に立ち、当分科会は、この1年間それぞれの研究者が問題意識を提起、分析し、討論を行う形で議論を進めてきました。当シンポジウムにおいて、その議論の成果を踏まえながら、この問題について第一線で研究を行っている日本学術会議の研究者が登壇し、問題提起を行い、議論いたします。

お申込みはこちらから

[www.asset-macro2011.com](http://www.asset-macro2011.com)